

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

令和7年度 図画工作 評価基準

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
絵の具のぼうけん、たのしさ発見！	絵	4	身近なものを使って絵の具遊びをたのしむ。	知 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしよう。	知 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっている。 身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、絵の具遊びをしている。	☆ いろいろな用具を使って絵の具で表すことに関心を持ち、絵の具のできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことを積極的にたのしもうとしたりしている。	絵の具、画用紙、ストロー、歯ブラシ、ビー玉、ぼかし網、水彩用具など
				思 絵の具の新しい使い方を見つけよう。	思 思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけている。		
				☆ 学 思いがけない形や色をたのしもう。	☆ 主 いろいろな用具を使って、絵の具のできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしたりしている。		
私は主人公	絵	4	自分で作った色紙を使ってコラージュ表現を行う。	知 自分いろいろがみから主人公やストーリーを考えよう。	知 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっている。 ストーリーに合わせて色紙を工夫して使ったり、思いついた色紙の使い方を試したりして、コラージュをしている。	☆ じぶんいろいろがみを使ってコラージュで表すことに関心を持ち、コラージュのできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことを積極的にたのしもうとしたりしている。	自分いろいろがみ、はさみ、のり、クレパス
				思 絵の具の重なりを見つけよう。	思 思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、色紙の新しい使い方を見つけている。		
				☆ 学 思いがけない形や色をたのしもう。	☆ 主 いろいろな用具を使って、絵の具のできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしたりしている。		
木々を見つめて	絵	4	木を見たり触ったりして、表したい木を見つけ、絵に表す。	知 色づくりや筆使いを工夫しよう。	知 身近にある木々を見たり、触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。 絵の具を使って、色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて表し方を工夫している。	☆ 身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージを豊かに広げ、表したいことを積極的に考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、画用紙、水彩用具など
				☆ 思 木を見たり触ったりして、表したいことを考えよう。	☆ 思 身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら、表したいことを考えている。		
				学 木を描くことをたのしもう。	主 身近にある木々に興味をもち、自分なりの木を描くことをたのしもうとしている。		
トントンつないで	工作	6	角材と薄い板を釘でつなぎ、動くものをつくる。 ※きりの使い方、金づちと釘の使い方に慣れる。	☆ 知 つなぎ方や動き方を工夫しよう。	☆ 知 角材と薄い板を接合することを通して、形や色、組み合わせたときの動きなどの感じがわかっている。 のこぎりや金づち、釘を使いながら、つなぎ方や動き方を工夫して表している。	☆ 角材と薄い板を組み合わせたときの動きを何度も試すことを通して、形や色、組み合わせたときの動きの感じがよくわかり、のこぎりや金づち、釘などを適切に使い、効果的なつなぎ方や動き方になるように工夫して表している。	角材、薄い板材、アイスのへら、のこぎり、金づち、釘、きりなど
				思 動く仕組みから、つくりたいものを考えよう。	思 角材と薄い板を釘でつないで生まれる動きから、自分のイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのようにするか考えている。		
				学 切ったり、つないだりすることをたのしもう。	主 角材を切ったり、薄い板と釘でつないだりすることをたのしもうとしている。		
つけて、のばして、生まれる形	立体	2	粘土をつけたりのばしたりして、気に入った立体に表す。	☆ 知 いろいろな形の表し方を工夫しよう。	☆ 知 粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかっている。 握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を使いながら、いろいろな形の表し方を工夫している。	☆ 粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかり、握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を繰り返し使いながら、自分のイメージに合わせていろいろな形の表し方を効果的に工夫している。	土粘土、粘土べら、粘土板、タオルなど
				思 粘土をつけながら、どんな形にしたいか考えよう。	思 粘土をつけたりのばしたりしてできた形の感じをもとにイメージを広げ、どのような形にしたいか考えている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				学 粘土の感触を味わいながら、つくることをたのしもう。	主 粘土の感触を味わいながら、進んでつくることをたのしもうとしている。		
よく見て伝えて	鑑賞	2	アートカードに描かれている作品を言葉だけで友達に伝えることで、作品をよく観察したり、作品の良さを言葉で表したりする。	☆知 作品の特徴を考え、言葉で伝えよう。	☆知 自分の感覚で絵を見ることを通して、音を表す形や色などの感じがわかっている。	☆積極的に友達と関わり合い、作品のよさを深く味わったり、たのしんだりしようとしている。	鉛筆、消しゴム、画用紙
				思 芸術表現をどのような言葉で表せばよいか考えよう。	思 自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えている。		
				学 著名な作品の面白さを発見しよう。	主 互いの感じ方の違いやよさを味わったりたのしんだりしようとしている。		
絵から聞こえる音	鑑賞	2	絵から感じた音を形や色で表し、互いの感じ方の違いを味わったりたのしんだりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	知 感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫しよう。	知 自分の感覚で絵を見ることを通して、音を表す形や色などの感じがわかっている。	☆積極的に友達と関わり合い、互いの感じ方の違いやよさを深く味わったり、たのしんだりしようとしている。	クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、作家作品の複写など
				思 感じた音から、形や色で表すことを考えよう。	思 自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えている。		
				☆学 互いの感じ方の違いを味わったり、たのしんだりしよう。	☆主 作品のよさを味わったりたのしんだりしようとしている。		
本から飛び出した物語	工作	6	本のお気に入りの場面を段ボールと軽量紙粘土などでつくり、みんなで伝え合ってたのしむ。	知 形や色を組み合わせ、つくり方を工夫しよう。	知 お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっている。	☆お気に入りの場面を意欲的に表し、友達などと活発に関わり合い、伝え合うことをたのしもうとしている。	段ボール、軽量紙粘土、絵の具、身近な材料、接着剤、はさみ、カッターナイフ、カッターマットなど
				思 物語の場面が伝わるように考えよう。	思 物語を読んだり聴いたりして、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や、登場人物の気持ちなどイメージしたことから、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいかについて考えている。		
				☆学 お気に入りの場面を伝え合うことをたのしもう。	☆主 お気に入りの場面を表し、伝え合うことをたのしもうとしている。		
へんてこ山の物語	絵	6	「へんてこ山」の形から想像してお話を考えながら、絵に表す。	知 描く材料を選んだり、形や色などを工夫したりしよう。	知 「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。	☆奇想天外な「へんてこ山」の形から想像を豊かに広げ、思いついたお話をどのように表すかしっかりと考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、画用紙、水彩用具など
				☆思 へんてこ山の形から、お話を考えよう。	☆思 「へんてこ山」の形から想像を広げ、思いついたお話をどのように表すか考えている。		
				学 へんてこ山を描くことをたのしもう。	主 「へんてこ山」を描くことをたのしもうとしている。		
つくって、つかって、たのしんで	工作	4	のこぎりで切った板を組み合わせ、使ってたのしいものをつくる。	☆知 板の切り方や切った板の組み合わせ方を工夫しよう。	☆知 のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりして、形や色やその組み合わせの感じがわかっている。	C のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板の組み合わせを試したりして、板の形や色やその組み合わせの感じがわかるとともに、のこぎりや用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を積極的に工夫している。	板材、のこぎり、紙やすり、角材、接着剤、絵の具、水彩用具など
				思 使ってたのしいものを考えよう。	思 板の形や組み合わせの感じをもとに、自分のイメージを広げ、使ってたのしいものを思いつき、つくる方法や手順など見直しをもって考えている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				学 作品をつくったのしもう。	主 つくことや、つくったものを使うことをたのしもうとしている。		
飛び出すハッピーカード	工作	4	友達や家族に伝える飛び出すカードをつくる。	知 飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。	知 飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。 飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色や組み合わせ方を工夫している。	☆ 贈る相手のことを具体的に思い浮かべながら、伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かした多様な試みをし、どのように相手に合ったカードに表すか積極的に考えて取り組もうとしている。	カラーペン、色画用紙、画用紙、カッターナイフ、カッターマット、はさみ、接着剤、色厚紙など
				思 贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。	思 贈る相手のことを思い浮かべながら伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。		
				☆ 学 カードで気持ちを伝えることをたのしもう。	☆ 主 つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。		
ほって表す不思議な花	絵	6	不思議な花を版木に彫刻刀で彫って木版画に表す。 ※彫刻刀の使い方に慣れる。	☆ 知 彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫しよう。	☆ 知 彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。 彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。	☆ 彫ったり刷ったりすることを通して、形や色の感じがわかるとともに、彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫刻刀を選んだり、彫り方や刷り方などをいろいろと試したりしながら工夫を十分に加えて効果的に表している。	版画インク、版画用紙、版木、版画用具、ばれん、彫刻刀、すべり止め、新聞紙など
				思 表したい花を考えよう。	思 彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい花を思いつき、表し方について考えている。		
				学 彫って刷ることをたのしもう。	主 版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりすることをたのしもうとしている。		
ゆめいろらんぷ	工作	4	透明容器と色セロハンなどを組み合わせ、ランプをつくってみんなで飾る。	知 ランプの材料や色の組み合わせを工夫しよう。	知 光が透過する材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の特徴や感じがわかっている。 用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫している。	☆ 材料を透過する光の美しさや影の形の面白さなどを自分の感覚で十分に味わいながらランプをつくり、友達と協力してランプを飾ることを積極的にたのしもうとしている。	透明空き容器、光を通す材料、リサイクルばさみ、接着剤、LEDライト、段ボール箱など
				思 光を通した感じから、つくりたいランプを考えよう。	思 映る光の色や影の形からイメージを広げてつくりたいランプの形を見つけ、表し方について考えている。		
				☆ 学 ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしもう。	☆ 主 材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ることをたのしもうとしている。		